

Editorial Board

Editor-in-chief	Professor	Nobuo Honami (Regional Environment Science)
Editor	Associate Professor	Motoaki Doi (Plant Science)
	Associate Professor	Toshiya Hirowatari (Plant Science)
	Associate Professor	Akiharu Kamihogi (Regional Environmental Science)
	Assistant Professor	Takashi Kimata (Regional Environmental Science)
	Professor	Naofumi Morita (Applied Biochemistry)
	Associate Professor	Koichi Nomura (Veterinary Science)

The Scientific Report of the College of Agriculture, Osaka Prefecture University is official publication of the College of Agriculture, Osaka Prefecture University concerning on the disciplines in Agriculture, Environment, and Life Sciences. One volume with one or more issues is annually published, containing articles (original and short research papers), reviews (doctor dissertation), notes and communication which were reviewed by anonymous referees. One of the authors should be the professor or instructor of the College of Agriculture, University of Osaka Prefecture.

Note: *The Scientific Report of the College of Agriculture, Osaka Prefecture University* is continued from the former periodicals, *the Bulletin of Osaka Prefecture University, Series B* (ISSN 1342-3266: the previous volume is Vol. 50, 1998).

All correspondences on this issue should be addressed to the Dean of the College of Agriculture, Osaka Prefecture University, Sakai city, Osaka 599-8531, Japan.

Copyright: the College of Agriculture, Osaka Prefecture University. Subscription rate: exchange base.

投稿規定

1. 本誌は大阪府立大学農学部教職員の学術研究および大阪府立大学農学部で行われた学術研究の報告誌とする。
 2. 投稿資格は、大阪府立大学農学部にも所属する教員、教員を含む共同研究者（学生を含む）、および編集委員会で認められた者とする。
 3. 記事は、原著論文、総説、短報および資料とし、いずれも未発表のものに限る。
 4. 原著論文は新しい研究成果を記述した論文、総説は論点を絞り、適切で複数の論文を引用し、著者の主張をよくまとめたものとする。学位申請論文の抄録は総説として取り扱う。短報は簡潔な研究成果を述べるもので、再掲載を前提としない。資料はデータや記録写真など、研究成果として公表に値するものとする。
 5. すべての記事は欧文または日本語とする。ただし、その他の言語で書くことが妥当と編集委員会で判断される場合はこの限りではない。
 6. すべての原稿は編集委員および編集委員会が依頼した審査員の審査を受ける。原著論文は、2名以上の審査員の審査結果をもとに編集委員会において掲載の可否を決定する。掲載可と判定された原稿はすべて返却しない。掲載不可と判定された原稿は、委員会よりの理由を付して著者へ返却する。
 7. 投稿論文は、別に定める執筆要領に従って作成し、正本1部および審査用のコピー1部（原著論文では2部）を随時、編集委員会へ提出する。
 8. 論文の長さ：原著論文は原則として刷り上がり10ページ以内、総説は原則として14ページ以内、短報は4ページ以内、資料は6ページ以内とする。なお、これを超える場合はその経費を著者の負担とする。
 9. 別刷りは一論文あたり50部を無料とする。これを超える部分は、全額著者負担とする。
 10. 投稿原稿が編集委員会へ提出された日を受領日とし、審査員よりの評定を受け、編集委員長が掲載可とした日を受理日とする。
 11. 編集委員長は、毎年11月30日までに受理と判断された記事を印刷所へ渡し、翌年3月までに出版する。
 12. 受理された記事が多く、予算内に収まらない場合は、受理日の遅い記事を次号で印刷する。
 13. 記事の掲載順は、記事の分類ごとに受理日の順番とする。原則として原著論文、短報、総説、資料の順とするが、詳細は編集委員会の判断にゆだねる。
 14. 掲載された記事のコピーライトは、編集委員会（農学部）にも所属するものとする。
 15. その他、編集に関するその他の問題については、編集委員会においてその都度協議する。
-

Cover illustration : A view of the Ziou Marsh in Nose Town (see page30)